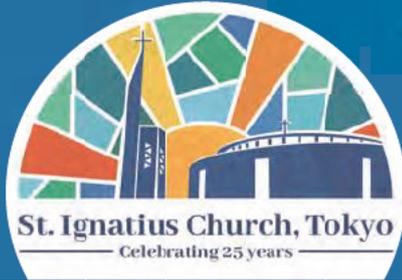


12・1月

トリック麴町教会



マジス

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに
～ともに重ねた25年の喜びのうちに 聖霊の導く未来へ～

主のご降誕おめでとうございます

2025年聖年にむけ
喜びと平和を願う



主任司祭
高祖敏明

救い主イエスの誕生を祝うクリスマスは、「民全体に与えられる大きな喜び」ですが、その現れは不思議なほど質素でつましいものです。「布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子」が私たちへのしるしだといふのですから。

新しい命の誕生は目立たなくても希望をもたらします。2025年の聖年を迎える今、その恵みによって、希望の巡礼者である私たち皆と全世界に、あがない主の喜びと平和が行き渡りますように。

クリスマス克蘭ツをともし



助任司祭
ボニー・ジエームス

待降節は世を照らす光であるキリストの誕生に向けて自分自身を整えていく時期です。

その象徴としてクリスマス克蘭ツの上に5本のろうそくを置き、待降節の間に毎週日曜日ごとにろうそく一本ずつに火をともししていきます。これらのろうそくにはそれぞれの意味があり、1本目は「希望」、2本目は「平和」、3本目は「喜び」、4本目は「愛」の象徴です。そして、待降節の5週目(クリスマスの日)に火をともし真ん中の5番目の白いうろうそくは世の光であるキリストの誕生を意味します。

これによって、やがて訪れるキリストの誕生のお祝いに向かつて私たちも少しずつ心が明るくなっていきます。

世界の平和のために



助任司祭
グエン・タン・ニャー

皆さま、主のご降誕と新年、おめでとうございます。

平和の王子であるイエスがこの地球に生きていてすべての被造物を祝福し、平和が与えられますように！

今年にはコロナの恐れから解放されたように感じますが、世界中の戦争や紛争が続く状態でイエスのご降誕を迎えています。

イエスはきっと私たちとともにこの状態を味わってくださり、信仰を保って、少しでも世界の平和のために力を合わすことができるように恵みを祈りましょう。

小さなイエス様



助任司祭
サトルニョ・オチヨア

お誕生日おめでとうございます。

人間の世界には涙がある。

イエス様の生まれたころにも平和がなく、怒りの涙が毎日のように見える。別れの涙があれば、出逢いの涙がある。挫折の涙に、愛憎の涙。

クリスマスにも涙がある。「神は人となり、我々とともにいる」という神秘を考えながら歌わずにはいられない。

なににごのおわしますかは

知らねども
かたじけなさに
涙こぼるる

(西行法師)

誰かの役に立てることに
感謝しつつ…



助任司祭
柴田潔

主のご降誕おめでとうございます。

2024年は4月と12月に日本赤十字社による献血が行われました。きっかけは聴罪司祭の桜井彦孝神父様の治療に、私がしていた成分献血(血漿)が使われていることを知ったからでした。国際的な教会(特にベトナム青年会)に感謝の皆さんが協力してくださりたくさんの方を助けられました。

体が元気であること、誰かの役に立てることに感謝する一年にしていきましよう。今年もどうかよろしくお願ひします。

Merry Christmas

クリスマスおめでとうございます。

2024年は、聖イグナチオ教会新聖堂献堂25周年おめでとうございます。

2025年は阪神淡路大震災30周年の記念の年であり、六甲教会は新聖堂献堂30周年に当たります。

また通常聖年を祝う年ともなります。私たちが希望に向かう巡礼者として、貧しい人や苦しんでいる人の希望のしるしとなることができるよう。

六甲教会主任司祭 英 隆一朗
信徒一同



イエズス会 姉妹教会から



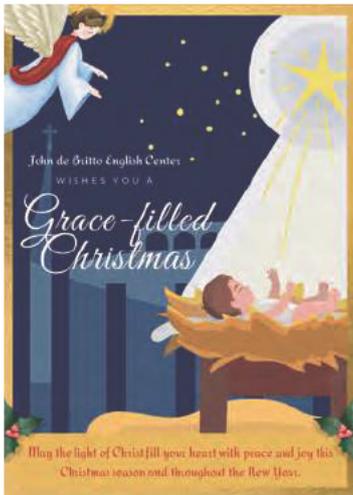
主のご降誕をお慶び申し上げます。

今、世の中はますます自己や本国中心になり、不寛容さも大きくなっていると感じます。戦争はあちこちに拡大し、未だ収束の兆しも見えません。大規模な自然災害、事件・事故も増加しています。

2025年は「聖年」の年。サビエル記念聖堂は、広島教区内巡礼教会のひとつとなりました。「平和と免償」を祈る一年。サビエル記念聖堂を訪れる人たちとともに平和を願い、働くことができますように。出会い、絆が広がっていくことが平和へ繋がると信じて。

カトリック山口教会 信徒会長 [Redacted]

Family of St. Ignatius から



▲英語圏から



▲ベトナム共同体から



▲スペイン語圏から



▲ポーランド語ミサグループから



▲ポルトガル語ミサグループから



▲インドネシア共同体から



現聖堂25周年記念企画—巡礼— 高山右近ゆかりの地

参加者総勢30名の3日間の巡礼の旅、大阪の高槻、千尾を巡ってききました。

同行してくださったのは高祖敏明主任司祭です。

初日、まずは高槻教会へ。高槻は高山右近が12年間城主を務めた地です。到着後高槻教会の方が教会周辺を案内・丁寧なご説明をしてくださいました。周辺散策資料もいただき、当時の面影はもちろんありませんが400年前のことを思い浮かべながらの散策でした。散策から戻り、ミサ。週日ミサですが、共同祈願と右近の列聖を求める祈りを捧げました。高槻教会を出た後は茨木の千尾寺にあるキリシタン遺物史料館へ。この千尾



▶高槻城跡公園 右近像

寺のある地区も、かつて高山右近の領地でした。史料館には茨木のキリシタンの歴史や発見された遺物が数多く展示されており、隠れキリシタンの里と呼ばれるこの地区で、キリシタン遺物などを守り伝えてきた方の映像も視聴させていただきました。残念ながらこの映像はこの史料館でしか観られないそうです。この後は、翌日金沢へ向かうため、滋賀県大津へ行き宿泊。2日目午後、金沢教会に到着。金沢教会の神父様はじめ関係者の方々が、こちらが恐縮するほどの大歓迎をしてくださいました。金沢は右近が26年間過ごした地区です。加賀藩研究家の木越隆三さんが講話くださり、金沢教会周辺の案内もしてくださいました(私たちの巡礼のためだけに『金沢の高山右近と前田利長』という資料を作成してくださいました。感謝です)。金沢教会には右近の聖遺物が祭壇脇の展示台に収められて

おり、金沢教会でのミサも高槻同様、深く祈りを捧げました。3日目は能登の志賀町へ。そこは高山右近の子孫が暮らす町、そして右近のお墓があるところ。お墓はかなり急な山の中にありましたが、全員無事にたどり着きお墓参り・祈りを捧げてくださいました。その後七尾教会に行き、ミサ。ミサにはフランススコアの元田勝哉神父様もご参加くださいました。元田神父様は能登の復興に大変ご尽力されている方で、被災地の現状をお話してくださいました。その後、キリシタン寺「本行寺」へ。本行寺は右近が追放されるまで滞在していた場所で、境内に修道所を建て信仰や西洋知識を広める拠点としていたところ。住職さんがこの日は不在だったため、残念ながら



▲金沢教会でのミサ

本堂にある右近が所持していた刀や刀の鏢(十字鏢)、キリシタン秘仏、キリシタン狛犬、右近が使用していた茶器などを拝見することはできませんでしたが、たくさん貴重な資料等が残っているそうです。自然が多く残る本行寺、この景色を右近もこの場所で見ていたと思うと大変感慨深いものがありました。巡礼最後の地、本行寺を後にし、一路富山空港から帰途に着き3日間の巡礼の旅を無事終えました。



▶志賀町 右近のお墓

<高山右近ゆかりの地巡礼 旅程>

※空路以外すべてバス移動

11/14(木)

羽田から空路伊丹→高槻教会へ。
高槻城跡公園等右近ゆかりの地散策とミサ
→茨木の千尾寺キリシタン遺物史料館
→滋賀県大津へ移動

11/15(金)

大津から金沢へ。午後金沢教会着。
金沢城址等右近ゆかりの地散策とミサ

11/16(土)

金沢から能登へ。
志賀町高山右近記念公園、右近のお墓参り
→七尾教会でミサ→キリシタン寺「本行寺」へ
富山から空路羽田

この巡礼で高山右近が残した足跡、信仰を守り通した場所に触れ、私たち参加者全員が何かを体験し何かを吸収できたのではないかと感じていきます。

今回の巡礼にご参加くださった皆さま、ご同行くださった神父様、旅行会社の方、**〇〇**さん、そして訪れた先々で大変快く迎えてくださった全ての皆さまに感謝申し上げます。

今回訪れた被災地の復興と、高山右近の列聖を引き続き祈りながら、また皆さまとともに巡礼の旅で一緒にできることを願っています。

(教会案内グループ
巡礼企画室)



第2回教会祭シンポジウム 教会の子ども&若者たちのこれからを考える

11月10日(日)13時半より、ヨセフホールにて開催されました。

森見太郎神父のお祈りで開始され、「教会の子ども&若者たちのこれからを考える」をテーマに、約1時間半にわたって活発な意見交換が行われました。

前半は8名のパネリストが自己紹介、教会との出会い、教会学校との関わりや意見を述べ、後半はグループに分かれて分かち合いの時間を持ち、最後にグループ代表から発表がありました。

以下は、その内容の要約



▶ 進行を担当された森神父

です。

パネリスト紹介(発言順)

・森見太郎神父

〈幼児洗礼〉中高時代は教会に行かなくなった。戻ってきたきっかけの一つはテニス。試合前に祈ることでもメンタルが鍛えられた。

・高祖敏明神父

〈中学3年時に受洗〉実家は仏教徒だったが、信仰心の下地がある家庭で育った。

・シスターフロール・フロレーセ(イエズス孝女会)

〈幼児洗礼〉家族や当時のフィリピンの社会状況・教育によって自身の信仰に大きな影響を受けた。

・シスター久守妙子(援助修道会)

〈成人洗礼〉幼児洗礼も成人洗礼も共同体が育てていくものだと思う。聖霊の導きにより皆さまとともに子どもたちを育てていきたい。

その他にもそれぞれの立場で話されました。

「幼児期に受洗。父の死後、教会は常に居場所であっ

た。中高時代のリーダーたちや、奉仕を通して学んだことは、単身赴任時代に心の支えとなった」

「信者の祖父の勧めで幼少時に家族受洗。土・日曜学校に通った。中学生会での巡礼の旅や高校卒業時に侍者会と日曜学校から誘われリーダーをやったことは、得難い経験となった」

「成人洗礼。幼少期プロテスタントの教会学校に通い、中高でプロテスタント・カトリック双方の先生に出会い、大学生の時にカトリックで受洗。侍者会のヘルパーをしていた」

「ミッション系小学校時代、この教会の友人が大切な存在になり、中2で受洗。子どもたちに教会の魅力を伝えるため、大人になりきて伝えない先輩ながら神さまを身近に感じられるイベントを提供したい」

以上の意見をもとに、後半の分かち合いで、教会共同体として今後子どもや若者たちとどのように歩んでいったらいいか考えました。

・教会学校は子どもたちにとって一つの場。その仲間を通して信仰を感じる。家庭

の中に祈る雰囲気があるのは助けであり、神さまを感じる経験をさせていきたい。

・子どもたちに教会の魅力を伝えるには信仰だけでなく遊びの部分も重要。教会は家の次に大切な場所。学校生活で困難な時、親に話せないことも教会で誰かに聞いてもらうなどできた。

・現役リーダーの業務や負担が非常に増している。リーダーは大学生だが、学生に限った役割ではない。家以外の居場所として教会学校を存続させていくには、カリキュラムを見直すことが鍵になると思う。

・教会学校は、家庭の協力や理解があり、子ども自身が教会に通い続けたいと思える場所であることが必要。聖イグナチオ教会の中の一つのグループなので、信仰教育や教会学校のあり方を教会として示してほしい。その上で皆が同じ認識を持って話していきたい。

・元リーダー。出産を経験して、この教会は授乳室・おむつ交換スペースを探すのが難しいと感じる。教会学校に連れて来てくても下の子がいって難しい。子どもたちだけ

でなく若い世代にも来てもらえる教会にして行くにはどうしたらいいか考える必要がある。

・行事が楽しいという感情だけでなく、教会の友達と一緒に祈る経験を通して、通常の学校にまさる何かがあると気付けたらいいと思う。それを教えられるリーダーが少ないが、子どもと一緒に信仰面で成長していくべきなのではないか。私見ながら、リーダーは先生ではなく少し年の離れた友だちとして、続けていけたらと思う。教会学校の制度を見直すことも大事だが、共同体として見守りながら体制を整えることも必要だと思う。

最後に高祖神父は「今後、教会全体で制度を見直していく上で、教会学校もインターナショナル化して行く時期にきていると思うので、それを具体的にするのもこれから課題だと思えます」と話されました。

参加者全員で祈り、高祖神父、森神父、ボニー・ジェームス神父からの祝福で終了しました。

教会行事

9月中旬から11月に行われた主な教会行事をご紹介します。

●敬老ミサ

9月15日(日)は祖父母と高齢者のための世界祈願日でした。高祖敏明主任司祭司式の10時のミサ終了後、希望者に病者の塗油が授けられました。

●長寿の集い&ミサ

10月19日(土)13時半より、ヨセフホールに80歳以上の約200名の信徒が集まりました。集いの前の10時ミサでは、塗油が授けられました。当日の感想を参加者より寄稿していただきました。



▲長寿の集い前のミサでの塗油

長寿の集いの感想



現聖堂献堂25周年、おめでとうございます。

10月19日に行われた「長寿の集い」のミサにあずかりました。この10月で卒寿を迎えました。200余人の老人パワーが参集して、心強く思いました。「お久しぶり」のお顔にもお目にかかりました。そして、走馬灯のように聖堂での来し方が思い出されました。

旧聖堂では、ヘルマン・ホイヴェルス神父様の司式で結婚式を挙げ、現聖堂では聖体奉仕者のご奉仕を亡妻とともに務めました。娘夫婦、二人の孫たちも信徒です。孫たちの侍者の姿が思い

浮かびます。

病者の塗油を授かりましたとき、「わたしはあなたたちの老いる日まで、白髪になるまで、背負って行こう。わたしはあなたたちを造った。わたしが担い、背負い、救い出す」(イザヤ書46:4)という聖句を心に留め、最後のカトリック信仰生活を送りたいと願いました。

神に感謝。 ()

●結婚感謝ミサ

10月27日(日)10時より、サトルニノ・オチョア神父司式のもと結婚感謝ミサが行われました。金婚 銀婚を迎えたご夫婦それぞれから寄稿していただきました。

結婚感謝ミサにあずかって

先日の結婚感謝ミサで、バチカンからの金婚式祝福記念証書を頂きました。教皇様の慈愛に満ちたお写真が入った立派で美しい証書です。二人で洗礼を受け、同時に結婚の秘蹟にもあずかり、同じ方向を向いて歩んで参りました。それは神さまが愛をもって導いてくださった道でもありません。苦難の時も

多くの喜びや試練を乗り越えて

私たちは、銀婚式という



共に助け合い、皆さまのお力添えも頂いて、この喜びの日を迎えることが出来ました。

以前、神父様から伺った「夫婦が助け合って生きていく中にこそ神の恵みが現れる」という言葉を思い出しました。今回ともにミサにあずかり、神父様はじめ皆さまからの祝福のうちに証書まで頂けたのは、まさしく神のいつくしみのお蔭で本来、目に見えない神の恵みが目に見える恵みとして現れたのだと感じました。これからも遅々とした歩みかもしれませんが、夫婦ともに歩んで参りますので、よろしくお見守りください。

節目の日を迎えることができました。神さまのお恵みとお導きに深く感謝いたします。

土曜学校で出会い、聖イグナチオ教会新聖堂ができた年に結婚式をあげました。この25年間多くの喜びや試練を乗り越えながら、ここまで歩んでこられたのは、家族のサポートやパートナーの支え、友人の励みや信仰にあると思います。また、2人の子どもにも恵まれました。振り返れば、親としての責任を共有して、成長を見守り、一つひとつの思い出が私たちの絆を深め人生を豊かなものにしてくれました。皆、健康で日々の何気ない出来事や共に過ごした時間はすべて宝物です。

これからも日々祈りながら、お互いを支え合い、感謝の気持ち忘れずに新しい未来に向けて一歩ずつ歩んでいきたいと思っています。

この度、記念の御ミサをあげてくださった神父様、準備をしてくださった皆さま、又共にお祝いしてくださった多くの皆さまに心から御礼申し上げます。

●宣教司牧評議会からのお知らせ●

(11月7日開催)

1. **2025年度信徒評議員候補者推薦のお願い**
当教会の運営・管理は宣教司牧評議会の下で行われています。宣教司牧評議会は、司祭団、シスターと信徒評議員（原則12名）によって構成されます。詳細は推薦用紙でご確認ください。
2. **「中長期計画策定委員会」準備委員候補者推薦のお願い**
中長期計画策定準備委員はミッション小委員会答申に基づき10年後の教会の姿、課題を検討していく「中長期計画策定委員会」立ち上げに向けての母体となる委員となります。詳細は推薦用紙でご確認ください。
*1. 2. ともに推薦受付期間：2024年12月8日(日)～2025年1月12日(日)
3. 地下駐車場は、荷物の搬入等特別な事情がある場合を除き、駐車を禁止しています。ご協力をお願いいたします。

●クリスマスミサと元旦ミサの時間●

12月24日(火) 日本語(予約制) 15:00、17:00、19:00
*主聖堂入堂の際、予約確認にご協力ください。
ベトナム語 17:00、19:30 英語 21:00
12月25日(水) 主日と同じ時間(予約無し)
1月1日(水) 0時と主日と同じ時間
*詳細はホームページ、チラシでご確認ください。

●年末年始の教会事務室・クリプタ●

- ・12月26日(木)～1月5日(日)まで通常業務はお休みです。また、信徒会館もこの期間は19時閉館となります。
- ・証明書などの発行依頼はお早めにお申し出ください。
- ・クリプタ申込、納骨に関する業務は12月9日(月)～1月5日(日)までお休みです。お参りは平常通り9時から16時までできます。

ミッション2030プロジェクトチーム

【つながるプロジェクト】

～いろいろな言語の人たちとミサでつながろう～

日時：2025年1月12日(日)16:30のインドネシア語ミサ
場所：マリア聖堂
定員：10名(申し込み先着順)

*詳細はポスター・チラシ等でご確認ください。

ミッション2030「小さな分かち合い」

「すべてのいのちを守るために」

一緒に考えてみませんか、環境のこと。
一緒に取り組んでみませんか、神さまが造られた美しい地球とすべてのいのちを守るために。

日時：2025年1月26日(日)11:15～12:40
場所：信徒会館203号室
お話し：瀬本正之神父(イエズス会/日本カトリック司教協議会「ラウダート・シ」デスク秘書)

*詳細はポスター・チラシ等でご確認ください。

●クリスマス・年末年始の案内所●

- ・12月24日(火) 11:00～21:00
- ・12月25日(水) 9:30～18:00
- ・12月26日(木) お休み
- ・12月27日(金) 11:00～18:00
- ・12月28日(土) ～1月4日(土)までお休み、5日(日)から通常通り

●枝の回収●

本年3月の「枝の主日」で祝福された枝を1月18日(土)から1月26日(日)の日程で回収いたします。

12月の典礼と行事

1 (日) 待降節第1主日	献血 10:00～10:30、12:00～16:30	宣教地召命促進の日・献金
4 (水)	『社会問題とカトリック教会の考え 2024年度連続セミナー』 シノドスの教会ー皆が参加し、ともに歩んでみようー 18:30 ヨセフホール 「シノドス、ともに歩み続けよう」 講師：梶山義夫神父 (イエズス会社会司牧センター所長)	
6 (金)	初金曜日	
8 (日) 待降節第2主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール 東京カテドラル献堂記念日 教会案内ツアー ①10:30 ②11:00 受付9:30～ ミッション2030 小さな分かち合い 11:15 203号室	
9 (月) 無原罪の聖マリアの祭日	ミサ 7:00 12:00 18:00	
11 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00 ミサ後	
15 (日) 待降節第3主日		
18 (水)	クリプタに安置され12月に命を迎える方々のためのミサ 12:00	
19 (木)	ヤングオールドクリスマスコンサート 13:00 ヨセフホール	
21 (土)	子どもと家庭のクリスマスミサ 14:00	
22 (日) 待降節第4主日		
24 (火) 降誕祭前夜(クリスマスイヴ)	通常聖年の開幕 バチカン聖ペトロ大聖堂「聖なる扉」開放 (2026年1月6日主の公現の祭日まで) 降誕祭前夜ミサ 日本語 15:00 17:00 19:00(キャンドルサービス) ベトナム語 17:00 19:30 英語 21:00	
25 (水) 主の降誕の祭日	ミサ 主日と同じ時間	
29 (日) 聖家族の祝日		

1月の典礼と行事

1 (水) 神の母聖マリアの祭日	元旦ミサ (0時と主日と同じ時間)	世界平和の日
3 (金) 初金曜日		
5 (日) 主の公現の祭日		
8 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00ミサ後	
12 (日) 主の洗礼の祝日	子どもとともにささげるミサ 10:00 教会案内ツアー ①10:30 ②11:00 受付9:30～ 新年祝賀会 11:00 20歳記念ミサとパーティー 18:00	
15 (水)	クリプタに安置され1月に命を迎える方々のためのミサ 12:00	
18 (土)	新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 15:00 ヨセフホール 1月18日～25日キリスト教一致祈祷週間	
19 (日) 年間第2主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール サントニーニョフェスティバル 12:00 ミサがわかるセミナー 13:00 ヨセフホール 「主の食卓」 講師：増田健氏	
22 (水)	傾聴ルーム 11:15～15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00ミサ後	
26 (日) 神のことばの主日	日曜サロン・ミニオリエンテーション 11:00～12:30 ヨセフホール世界子ども助け合いの日・献金 ミッション2030 小さな分かち合い 11:15 203号室 教会活動連絡会議 13:00 ヨセフホール	ケルンデー

最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。



<https://youtu.be/HJD81vABRCc>
(バチカンニュースYouTubeより)

菊地功枢機卿様おめでとうございます！日本人7人目の枢機卿

東京教区菊地功大司教は2024年10月6日、教皇フランシスコにより枢機卿に任命され、その叙任式が12月7日バチカンの聖ペトロ大聖堂で厳かに執り行われました。

菊地功枢機卿をはじめ21人の新枢機卿お一人おひとりに、教皇から緋色の帽子「ベレッタ」と指輪が授けられ、任命書が手渡された際にはローマの教会の中からそれぞれの枢機卿に象徴的に託す

「名義教会」の名が告げられました。菊地功枢機卿にはローマ東南部のトル・マウラ地区の聖ヨハネ・レオナルディ(サン・ジョヴァンニ・レオナルディ)教会が託されました。翌12月8日には「無原罪の聖母マリア」の祭日を祝って、教皇は菊地功枢機卿をはじめ新しい枢機卿を迎えた枢機卿団と共に聖ペトロ大聖堂でミサを捧げられました。

(バチカンニュースより抜粋)

主任司祭：高祖 敏明

助任司祭：ポニー・ジェームス
グエン・タン・ニャー
サトルニノ・オチョア
柴田 潔

協力司祭：ハビエル・ガラルダ
中村 健三
グエン・バン・テー
関根 悦雄
マヌエル・シルゴ

シスター：マルセラ・ロサス
(セントロ・ロヨラ)
フロール・フロレーセ
ジェスリン・ブエンディア
(ジョン・デ・プリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel
7:00/12:00/18:00

【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel
土曜 18:00/19:30 (Việt Nam)
日曜 7:00/8:30/10:00/18:00
12:00 (English) /13:30 (Español) /
15:00 (Việt Nam)

【月の第1日曜日 1st Sunday】
Our Lady's Chapel
12:30 (Português) /16:00 (Polski)

【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】
Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

「マジス」へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

カトリック麹町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102-0083
千代田区麹町6-5-1
TEL 03-3263-4584
FAX 03-3263-4585
<http://www.ignatius.gr.jp>



Linktree (リンクツリー)
リンクツリー (Linktree) とは多数のリンクをまとめて表示しているツールのことです。このQRコードを読み取ると教会ホームページ、教会ガイド、Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeへアクセスできます。